

山頂から麓まで、標高差 500m
を駆け下るロゲイニング。雨
の中のどろんこレース。

2012年7月21日(土) 長野県白馬村
エバニュー岩岳ミニロゲイニング大会



レース前の競技説明を行う村越真

信州・白馬岩岳

白馬岩岳といえばスキー場として有名。過去に数多くアルペンスキーのインカレが開催されてきた。そんな本格的アルペンスキーの山を使ったロゲイニング大会が開催された。

急峻な山ゆえ、競技範囲は岩岳スキー場と、山頂周辺の遊歩道のみに限定され、ロゲイニングとしてはかなり短い90分の制限時間の競技だった。

標高 1290m の山頂がスタート。フィニッシュは山麓。標高差 600m。スタートまではゴンドラでテレインを眼下に見ながら輸送された。

残念ながら天気は雨と霧の中で行われた。晴れば雄大な北アルプスの風景が見られたはず。

それでも参加者は元気にぬかるむスキー場の中を駆け抜け、山麓のフィニッシュを目指した。

晴ればかなり暑くなる季節である。気温的には雨で丁度良いコンディションであった。

近隣の長野市・大町市に大雨警報が出される中、白馬村は何とか雨が降ったり止んだりの状態。なんとか中止になるような天気にはならなかっただけでも運が良かったと言えるだろう。

オリエンティア・強し!

筆者・木村は、奥村氏とチーム出場。さすがにベテランオリエンティアが2名揃うと、現地でのミスも少ない。地理院地図の裏情報まで読みぬく。

雨でぬかるむスキー場を疾走し、結果ダントツの得点を叩き出した。



競技中にてであった参加者。雨の中を元気にダウンヒル

勝因は等高線を読み込んで登りを減らしたことや、時間計算の戦略の立て方にある。閉会式では優勝者として、その戦略を参加者皆さんに解説させていただいた。

エバニュー社や地元提供の豪華優勝賞品を頂いた。前日に会社の納涼祭抽選がさっぱり当たらなかったが、その運をここまでため込んできていた感じ。

表彰のあとは振る舞い無料のバーベキューとたこ焼きをいただいて、皆さんと歓談させていただいた。

エバニュー社アウトドア市場へ

エバニュー社主催のミニロゲイニング大会は、エバニュー社がアウトドアスポーツへの足掛かりとして手掛けているイベント。過去に2回埼玉県で実施され、今回開催地を長野県に移して実施された。本格的な山岳アウトドア

ビジネスに乗り出す意味あいがあるのかも知れない。

残念ながら今回は参加者が少なかった。広報が充分でなかったことは明らかだったが理由はそれだけではない。ミニロゲイニングの参加の多くが家族やファンロゲイニングの皆さんであったことから、日帰りでできない岩岳を会場に選び、岩岳の宿泊とタイアップしたイベントとなったことが大きな要因であったと思う。

いろんな苦勞があったと推察される岩岳ミニロゲイニング大会の運営であるが、エバニュー社からは、「皆さんのフィニッシュ時の笑顔を見て元気が出た。来年も岩岳でミニロゲイニングを行いたい。」との言葉があった。

(木村佳司)